



議会だより

第158号

発行
平成29年8月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 小園 實重 ■編集：議会広報編集委員会 ■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



米飯給食 7月18日 平山小学校

平成29年第2回定例会(6月定例会)が6月13日～21日まで開催されました。

主な内容

- 一般質問(6名)..... 2～7
- 陳情審査結果報告(各常任委員会)..... 8～9
- 論点(補正予算審議より)・発議..... 10～11
- 意見交換会団体募集・編集後記..... 12

一般質問



立石 靖夫 議員

安心安全な環境整備について

上中大川線の整備状況は

立石 車社会の時代により今では1世帯当たり2台から3台保有しており、自家用自動車は生活の必需品であり、町民のみじかな生活の支えであります。道路があるゆえに日常的に本来の機能が十分果たされており、その道路の管理整備は今後極めて重要であり、安心安全な道路を保持することが行政の責務であります。

平成15年から毎年町単独事業で実施してきた舗装補修工事もあとわずかになりました。しかし、15年度から17年度に実施した補修工事区間がアスファルトのヒビ割れ等がまた発生している状況でありますが、今後の補修計画と全区間補修完了は。

町長 町道上中大川線の補修舗装については本年度で完了予定で、補修舗装延長区間、109mを予定している。さらにひび割れが発生している部分については、アスファルト注入材等を利用して、補修する。

美の吉食堂前から陸上競技場周辺道路舗装補修計画は

立石 美の吉食堂前から陸上競技場 中央幼稚園、旧

河野書店前の本線に通ずる裏道路は、各種大会や町主催のイベント、福祉センターでの催し、朝夕の幼稚園児の送り迎え、ゲートボール場奥の住宅道路として一番利用の多い町道だと私は認識しているが町長はどのように考えているのか。

町長 本日に補修、舗装をしていくのはやまやまでありますが、町内の全体的な補修も踏まえながら再検討をして適時やっていく。

立石 私は15年前から当道路の整備については要望し、1年でも早く今の道路幅で舗装すべきではないかと思っております。

建設課長 町長も状況については把握しており、非常に生活に密着した重要な路線であると認識しております。全体的な計画の調整を行いながら十分な計画を練っていきたくと考えております。

役場御開線舗装補修整備と排水溝対策

立石 この道路は役場前からうみの旅館前までの町道であり、以前から舗装の陥没や排水溝改善について要望してきました。軟弱な水田跡地に排水溝、道路を設置改良した、現在のアスファルト道路であります。舗装の陥没や大雨

時には、付近の住宅敷地には雨水が流れ込み、土のうを積み上げ対策を行っている現状です。旧中平中学校跡地に設置した防災拠点施設整備事業も進み、南種子交番も移転し、アスファルト駐車場、食糧備蓄場、警察官住宅、今後設置が計画されている水洗トイレ施設等、この施設排水は既存の排水溝、つまり役場御開線道路下の排水溝に流れる。防災拠点施設関連事業として、早急に改善が必要である。町長は整備する考えがなにか。

町長 都市下水路の保全管理を含めて、今、非常に重要であるということは、もちろん認識をしているところでございます。現在、国も補助事業として社会資本整備総合交付金事業を活用して町道整備の推進を図っておりますが、本年度からは、舗装補修事業が補助事業から除外されたことにより、国の財政状況からして舗装、保守事業が除外され採択要件が厳しくなってきた。

立石議員のおっしゃることについては、十分わかっておりますので、再度検証をしたいと思っております。

米軍基地等馬毛島移動問題対策協議会活動内容は疑問

立石 熊毛地区1市3町

の首長及び西之表市、屋久島町、議長らで構成した協議会で、市、各町の負担金により運営がなされている米軍基地等、馬毛島移設反対の協議会で、西之表市長が会長で、3町長が副会長職であります。中種子町議会は平成24年12月、南種子町議会は平成27年6月協議会から離脱し、名越町長は協議会にとどまり、協議会に必要な負担金拠出を続け、協議会の平成28年度決算では約700万円の繰越金決算である。27年、28年度の活動状況も不透明で両島民へ情報さえも周知されていない。南種子町が平成24年から29年度までの協議会への負担総額を示せ。

町長 南種子町が負担した金額は、23年から29年の7年間で、合計3百33万7千円でございます。

立石 平成29年5月開催された総会是非公開で開催されたと報道がありました。が、市民の税金で設立している協議会を非公開にした理由を示せ。

町長 会長(西之表市長)、事務局含んで非公開を宣言したので、その理由は私ばかりではありません。



上園 和信 議員

ふるさと納税の運用について

上園 南種子町におけるふるさと納税、制度開始からの年度ごとの受け入れ状況をみると、平成20年度1件の5万円、21年度5件の123万円、22年度は2件の5000円、23年度は3件の161万円、24年度は3件の25万円、25年度は4件の17万円、26年度8件の22万円でありましたが、27年度は一気に4059件の4815万8540円と大きく伸び、全国各地に南種子町を応援したいという方々が増加傾向にあるようです。

平成28年度ふるさと納税の実績についてお尋ねします。

町長 件数は4624件、金額で2億166万3767円、返礼比率は寄附金に対して5割、業務委託等経費は2242万9568円で11割。総経費は1億2751万26円で経費率62割であります。

寄附金は、出産祝金等の子育て支援、学校図書館等教育に関する事業や恵美之江展

望台の施設整備に活用しました。

上園 28年度実績は、経費率63.5割、実際に活用した金額は36割程度のものであります。返礼品としてどういう地元産品を贈呈しているか。

企画課長 安納いも、冷凍安納いも、焼酎、マンゴー、コシヒカリ、海産物はトビウオの干物、アサヒガニ、イセエビ、さば節などの89品目を用意しています。

上園 自治体が寄附者に贈る返礼品、競争が過熱していると言われ、返礼品競争に歯止めをかけるため、総務省が抑制を求める通知を全国の自治体に出したようであります。返礼品を3割以下に抑えることについて、町長はどう考えるか。

企画課長 全国統一して3割以下に引き下げることの指導はきており、現在のところ決定はしていないが、検討

して、周りの状況をみながら考えたいと思います。

上園 返礼品を3割以下に引き下げて、あるいは廃止して、善意の寄附金を子育て支援に重点投資しながら、子どもを産み育てやすい環境を築き、少子高齢化を克服していく。このことについてどう考えるか。

町長 子育て支援、鹿児島県一は私の町です。結婚の問題、第1子、第2子、第3子、第4子全て多額のお金をだしておりますし、小中学校の給食費は3年をかけて本年4月1日から無料にしました。それから、18歳以下の医療費は無料でございます。

いま国の示す、そういう方向でいこうということを担当課長に伝えているところであります。

上園 このふるさと納税寄附金、未納・滞納もなく、賦課・徴収の必要性もない、返礼品を3割以下に抑えようと経費も少なくて済み、自治体にとっては非常に魅力的な収入源であると思います。取組みを強化することによって、大幅な寄附金増が期待されるのではないのでしょうか。

ふるさと納税の専門部署を新設し、ピーアールを強化して、返礼品も超早場米コシヒカリ、安納いも、パッションフルーツ、焼酎、ポンカン、タンカン、インギー地鶏、黒毛和牛、黒豚や海産物などの地元産品に絞り、来年度ふるさと納税寄附金3億から5億円目指すことについて、町長はどう考えるか。

町長 今の提言は、担当課のほうも全部ネットで調査しておりますから、それについては注視してがんばる必要があるかなという思いをしているところです。





西園 茂 議員

農業所得向上について

西園 2015年農業セ

ンサスでは、日本の農業人口は5年前と比較して50万人の減少で207万7000人。平均年齢は66歳です。

本町の農家数は637戸、専業農家362戸、65歳以上の農家数は300戸となり、大幅に減少し、高齢化が進んでいます。平成28年度の農業生産額と29年度計画はいくらですか。

町長 平成28年度農業生産額は33億7568万3000円の見込み額で、29年度計画は30億8178万2000円です。

西園 本町の農業所得は平成27年度、税務課の資料で、約1億4000万円です。非常に少ないです。農業ではご飯が食べられない現状が続いていることで、農家数が減っております。本町の認定農業者115戸ですが、28年度の農業生産額と29年度計画はいくらですか。

総合農政課長 28年度は約14億3000万円で、29

年度の計画は現段階では把握していません。

西園 1戸1戸の農家を確実に育てること。目標数字を的確に押さえていくことで農業発展が可能と考えるが、その体制はできているのか。

又、今年度の各生産組織の生産目標の総額はいくらか。

総合農政課長 各機能集団的には専門的組織等を中心に体制が作られているが、全般的指導体制は十分とはいえない。

又、本町では20の主な生産組織がありますが、その他にもあり、全体を把握しておらず総額は解りません。

西園 各生産組織に生産目標の責任を持たせ、全生産者組織が一同に会し、全体会議を開催。年度の農業生産額を決定すべきだと考えるが、全体会議は実施しているのか。

総合農政課長 機能毎の生産組織による会議は実施しているが全体会議は実施して

いない。

西園 平成28年度の堆肥生産は何トンで、29年度は順調に生産できているのか。又、堆肥生産の民間委託はいつになるのか。

町長 28年度の堆肥販売量は1195トンです。29年度の堆肥生産は需要量が多く間に合っていない現状です。堆肥の有効性についても試験が進まず、民間委託が遅れる状態です。

西園 私は本町の農業に関してチャンス到来だと思います。堆肥の増産体制と安納いものネット販売で好条件がそろっています。今年度のトナーミー市場の販売計画は出荷農家に提示しているのか。又、平張り施設の導入事業を計画できないか。

町長 出荷農家の役員との話し合いで、9月より堆肥利用の野菜出荷をお願いしています。平張り施設については自己負担についてもお願いす

る形で、検討するよう指示しています。

地方創生について

西園 人口減少を鈍化させる時期を何年頃に設定しているのか。

企画課長 各事業の充実により、2025年ごろから鈍化が明確に判断できる時期となるのではと思っています。

西園 出郷者との交流にて跡取り確保のたてを推進する考えはないか。又、集落単位の次世代地域プラン支援事業に早急に取り組む考えはないか。

町長 ふるさと納税金を利用し、出郷者との地元交流も考えたい。又、地域プラン支援事業は職員と連携をとって早く進めたい。



塩釜 俊朗 議員

銀河連邦について

塩釜 宇宙への夢とロマンを合言葉に、宇宙航空研究開発機構関連施設が立地する5市2町で構成された銀河連邦が今年結成されて30年を迎えるそうである。東日本大震災での支援活動や子供の交流事業などを展開、相互に友好

関係を築いている。南種子町も加入すべきではないか。

町長 活動提携をしていくことについて、年間の活動費が大変な額になると思っっている。議員10名の皆さんが、加入してやるべきだということであれば私も率先して動かないといけないと思えますが若干活動の形態が違うのかなという思いもしている。宇宙の町としては各地と交流を実施しておりますので、そういうことも含んで検討する必要があると思っっている。

宇宙のまちの活性化について

塩釜 長谷から上中市街地には打ち上げ成功という横断幕のぼり、数10本立てておりました。打ち上げる前の歓迎等の横断幕、のぼりがあり見受けられなかったのではないかと。なんとなくロケットの町として盛り上がりがない寂しい感じがした。スタッフ、関連企業の職員も含め数百名の方が打ち上げに従事しているスタッフ、観光客を歓迎する対策をさらに検討すべきではないか。

企画課長 打ち上げ前に成功祈願ののぼりと、成功した後に成功おめでとうののぼりを町内に立てている。2年前から種子島全島に拡大して

立てるようにしている。観光客については、打ち上げ見学のチラシ配布を空港、港で行っている。以前は飲食店などで打ち上げ成功おめでとうみたいな張り紙とかしていました。現在していない。商工会などと再度話しを進めていきたい。観光客が来島しますので、さらにもう1泊を期待するためには宿泊客をふやすための実験を行う予定。ほかにもどんな対応が可能か検討を進めてまいりたい。

塩釜 宙太君を活用した、歓迎のぼりを立てたい人がいる。又町でも考えるのであれば、団体、集落、個人等に幾らかの補助をしてお願いする考えはないのか。

町長 町の宇宙開発推進協力会というのがありますので、その予算の中でできるので、その予算の中でできるのではないかと思えますが十分協議していきたい。

ふるさと納税について

塩釜 返礼品の管理業務委託は昨年まで、受け付け業務から返礼品の確保送付まで職員がしていたが外部委託している。この委託業務を外部委託ではなく町内の業者、団体に委託すれば、雇用対策など幅広い効果が出てくるのではないか。

企画課長 現在ふるさと納税を一括して受け付け、処理、広報ができる返礼事務等に対応できる業者はないと考えている。今後対応可能な業者が町内にできた場合には検討してまいりたい。

スポーツ対策について

塩釜 種子島ロケットマラソンが30回で終了ということですが、継続してほしいという声を聞いたり、完走パーティーでも島外者からも継続してほしいという声もあったとお聞きしますが復活の可能性はないかお伺いしたい。

町長 町のマラソン大会については、よかったという事で承知しているが、今後観光協会それぞれの意見も踏まえて検討するという事になる。時間がかかるということだけは御理解いただきたい。

塩釜 ロケットマラソン大会、第1回から第30回までの企画展をしたらどうか。

町長 11月3日のふるさと祭もありますし、そういう機会を得て準備させたい。

町木町花の普及について

塩釜 町木町花を制定しているながら、教育施設、公共施

設には余り見られない。少なくとも、小学校、中学校、公共施設などを調査し植栽していない場所については植栽すべきではないか。

町長 準備し苗も採取しているので御理解いただきたい。

教育長 児童・生徒等に町木町花を意識させる観点から意義あることだと考えている。表示をしたり普及啓発を図ってまいりたい。

定住促進について

塩釜 町政座談会等において下中地区から要望もあつたと聞か、公営住宅等の建設計画はないか。

町長 大分敷地を探しましたが民間が建設という事でありますので、町としては、今後の検討課題としたい。

住民要望

塩釜 郡川河口までの道路の舗装計画は今後なされるのか。

町長 町が舗装するといふのは困難。県の管理道路になつているので、県のほうにお願いしたいという折衝はこれからしたい。



日高 澄夫 議員

あおぞら保育園の非正規 職員の処遇改善を

日高 国は平成29年度から民間保育士のキャリアアップ制度を導入し、国が定めた研修を受けることを条件に、職種によって4万円、5千円の加算をつけます。またこれとは別に全職員に対し2%、月額で6千円程度の処遇改善を実施します。予算として500億円、国が2分の1、自治体が2分の1負担ということです。しかし、公立に勤務する保育士の人件費は一般財源化されており、全ての保育士への処遇改善にはならないと言われております。あおぞら保育園の非正規保育士の処遇改善を民間保育士並みに改善して下さい。

町長 正規職員との格差があることは理解しています。が、勤務条件等について調査を始めています。国の考え方をきちんと参照しながら実態調査を踏まえ、きちんと処理したいと、このように答弁します。

国保税の改善を

日高 国保税の応能割と応益割の比率について示して下さい。平成2年頃の応能応

益の全国平均は65対35で、各自治体は貧困層の対策をとっていました。国は平成3年施行令を改正して50対50を標準としました。そして平成7年国保法を改正して応益割が高い自治体に新たに2割軽減措置を設けて応益割が増加するよう国は誘導した。

税務課長 応能割、応益割の比率について、平成11年度56対44、13年度57対43、17年度50対48、19年度52対47、平成23年度改正39対60です。

日高 平成2年頃が全国平均で65対35が、現在の南種子町の応能割対応益割が35対65ということで平成の始め頃とは逆転しており、低所得者に負担転嫁している。理由を示して下さい。

税務課長 基本的には標準負担割合を堅持する必要がありますと認識している。ここ数年税率を据え置いてきているので所得枠が減少すれば、応能割の負担割合が減少するので、その状況が続いていたというところであろうと思います。その負担割合の見直しが必要

ではなかったかというふうには思っています。

日高 応益割の負担率を上昇させるために2割軽減が導入されました。2割軽減世帯と2割軽減されない世帯の所得に対する国保税の負担割合を示して下さい。税負担は所得に応じた応能割、累進課税であるべきと考えますが、町の負担率が35対65ということとで、所得に対する国保税の負担割合が、低所得者、中間層所得者、高所得者にどう影響しているか示して下さい。

税務課長 2割軽減世帯とされない世帯で、夫婦2人では2割軽減該当所得額は131万円、50対49。2割軽減されない所得額は、131万1円で割合は44対55。38で2割軽減されない世帯の所得に対する国保税の負担が大きくなります。例えば、所得40万から60万では税額7万1130円で14.2%。所得100万以上150万未満世帯の平均の国保税は、16万2956円。中間の125万円を想定した負担率は13%程度。200万から250万の世帯にあつては26万877円。この中間の225万

円を想定すると11.6%。金額の多い1000万円以上では、一世帯当たりの年税額が79万4856円という額になり、所得に対する国保税の負担割合は大雑把に言って8%程度でしょうか。

日高 保険者努力支援制度について伺います。この制度の趣旨を現行補助制度に前倒して反映することを決定し、平成28年度から実施しているようです。南種子町はどう評価されましたか。後期高齢者医療制度でも採用されていますが、重症化予防措置、それから頻回受診者への訪問指導、医療費適正化の努力を採点して調整交付金を重点配分するという本当に卑怯なやり方です。

保健福祉課長 実施項目は重症化予防、収納率の向上、特定健診の受診率、特定保健指導実施率などを点数制にして採点。南種子町の平成28年度は415点中148点で、74万5000円の交付金でした。

産業厚生委員会委員長 上園 和信

産業厚生委員会に付託されておりました陳情1号「中心商店街の駐車場及びトイレ設置について」、陳情審査の経過と結果を報告します。

陳情者は、南種子町商工会会長寺田榮一郎氏、上中本通り会会長船川隆二氏、南種子町公民館婦人部連絡協議会会長古市雪枝氏であります。

当委員会は、6月14日委員全員が出席し、第2委員会室で陳情1号を審査しました。陳情の趣旨説明には、提出者の南種子町商工会会長寺田榮一郎氏、上中本通り会会長船川隆二氏、南種子町公民館婦人部連絡協議会会長古市雪枝氏の3人に出席いただきました。

陳情書提出者を代表し、南種子町商工会会長寺田榮一郎氏から、ロケット打ち上げ回

数増により打ち上げスタッフ、マスク関係者や観光客の入込も大幅に増加したことから、農作物が近年にない豊作であつた等の要因から、石油、飲食、タクシー、レンタカー等が潤いましたが、反面、小売店や食料品店、酒店、書籍・文具店等は、西之表市や中種子町に進出した大型店舗の影響により壊滅的な状況にあります。このようなことから、本町商店街では商店の閉店・廃業が進行している現状にあり、これを少しでも打開するには、上中本通り周辺に駐車場とトイレの設置が必要と考え、設置に向け陳情書を提出したところであります。同様の陳情書を2010年にも提出

しましたが、継続審査のうえ最後は不採択となつた経緯があります。との説明。

質疑に入り、「陳情書にある

中心商店街とはどこを指すのか。」「上中十文字から半径50メートル以内を考えている。具体的には、第1希望がビジネスホテルゆり裏側の空き地、第2希望は旧南種子駐在所跡、第3希望は図書館跡がよい。」「駐車場は何台収容で、トイレは何人槽を考えているか。」「駐車場は最低でも3・4台、トイレは恵美之江展望公園に設置した規模のようなものでよい。」「設置する土地は商工会で提供するのか。町の方で確保してほしいとのことか。」「商工会は厳しい財政状況であることから、全て町の方でお願いしたい。」「駐車場・トイレ設置後の維持管理は商工会で考えるか。」「商工会はできないので、町でお願いしたい。」「主な質疑・応答です。

る執行当局の考えについて説明を求めました。

説明では、「南種子町の商工業の現状は2007年と2011年を比較すると、販売額で6億5800万円から51億円、事業所数で108から72事業、従業者数で374人から256人と大きく落ち込んでおり、集客の面からも中心地に駐車場やトイレがあつた方がよいと思うが、費用対効果を考えると慎重な検討が必要とも考える。以前も同じ内容の要望があり、費用対効果等の関係で立ち消えになつた経緯もあるので、検討しながらなるべく早い時期に答えをだしたい。」とのことであります。

きないのかとの想いや、中心地への必要性も感じてはいるが、費用対効果の面も含めてどう考えるか。」「真ん中ではない

がちょっと歩くと実際には何ヶ所かの既存の施設があるが、いろんな面を考えたとき、真ん中にあつた方がベターだと思う。」「との質疑・応答であります。

協議の結果、費用対効果の面もあるが、今後予想される観光客の増加や商店街活性化のためからも必要であると判断しました。

質疑を終わり、討論に入り、討論もなく、採決は起立により行いました。

その結果、起立多数であり、陳情1号「中心商店街の駐車場及びトイレ設置について」は、採択すべきものと決定しました。

続いて、河口企画課長、山田課長補佐兼観光経済係長に出席要請し、陳情1号に対す

軒しかないたの話であつた。中心地から少し行けば既存の施設もあるのです、そこを活用で

総務文教委員会委員長 河野 浩一

総務文教委員会に付託されておりました陳情第2号の審査の経過と結果について報告いたします。

当委員会は、6月14日、全委員の出席のもと、第1委員会室において委員会を開きました。

陳情第2号は、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消を図るための、2018年度政府予算に係る意見書採択について」であります。提出者は、南種子町島間4304番地6落合みね子氏であります。

落合氏に陳情の内容について趣旨説明を受けた後、加藤昭代氏により追加説明があり、南種子町は給食費の無料化や特別支援学級の設置にも御尽力いただいております。

複式の子ども達は授業についていけない児童が多い。半分の時間ではなかなか理解ができない。昼休み・放課後を使い指導してもなかなか厳しい。複式解消はもちろんお願いしたいが、無理であれば、先生が子ども達と向き合える時間を確保できるようにしてほしい。事務的な仕事も多い。事務的な補佐をしていただける人材も含めて改善をお願いしたいとの事。

質疑では、教職員全員がこの陳情について同じ気持ちを持つているかの問いに、そう理解している。現状や予算が確保できれば、こういうことが出来るとか議論をして統一してほしいという事。

支援員を配置しているが、その状況が知りたい。支援員でカバーできないのかの問いに。支援員の立場は学習を教えるという事ではない。生活面・行動面での手助けが主な仕事との事。以上で提出者の説明と質疑を終了。

次に小脇管理課長・白田参事に出席を求め、南種子町の小中学校の現状について説明を受けました。

現在の学級編成基準は、第1学年は1クラス35人が標準。36人以上は2クラス。2学年以上は1クラス40人が標準。41人以上が2クラス。中平小4年生が35人で1クラス。中学校は全学年2クラス。

現在町内の小・中学校では業務改善に向けて定時退校日を週1回設けたり、校内のネットワークを利用し、データを共有する事で業務の効率化を図っているとの事。

国庫負担制度の2分の1への復元については、平成18年に小泉内閣の時の三位一体改革で3分の1に見直されていて、現在3分の2を県が負担している。県としても補助率復元については希望していると考えている。

又、国の学級編成基準を改める事については、小規模校にとっては大変有効なものと考えている。来年度中学校新1年生が40人をきる見込みであり、学級編成基準が35人以上になれば2学級維持が可能となり、正規の常勤職員の確保も可能になるとの事でした。

質疑では、中平小学校に加配職員が配置されているかについて。

されている。教員免許をもっているとの事。

支援員は教員免許がなくていいのか。ただ、補助員としての配置か。について。

補助員として町単独で4名採用。うち1名が免許を持っているとの事。

複式を1人で見るのは大変。教材の調べだけでなく、事務もある。だから教員を増やしてとの要望。南種子町は支援制度をしている。支援員の業務内容は、について。

町が配置している特別支援員は学級の補助というより、特別な支援が必要な子ども達についてフォロー。生活習慣でみんなについていく事が厳しい子どももいるとの事。

今後支援員を増やしていく計画があるのかについて。

現状では4名。島間・中平・西野については、県に申請し特別支援学級が設置され、教職員が配置される。普通学級への配置等は考えていないとの事。

他に質疑・討論はなく、陳情第2号は賛成多数により採択すべきものとして決定をいたしました。

論

点

平成29年度南種子町 一般会計補正予算 (第2号)の審議から

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出1億210万6000円を追加し、予算の総額を54億8950万2000円とするもの。

なお、この補正予算については、14日の本会議で審議しましたが、質疑の途中で執行部より撤回の申し出があり、撤回を許可しました。21日の最終日に再度提案され審議しました。

質疑 ふるさと納税推進事業費の広告料が多いと思うが。

企画課長 関東を中心とした朝日新聞の夕刊折込を利用しPR。ボーナスシーズンやお歳暮シーズンなど時期を

見ながら実施。

質疑 河内温泉プールを原水のままではないので、一週間に続けて開業できないか。住民の強い要望がある。

保健福祉課長 4月から土・日の2日開放を、金・土・日の3日開放にしており、それに合わせて利用者も増加している。一週間営業となると人員配置も含め検討が必要。内部で協議したい。

質疑 中平小学校前から前之峰陸上競技場、そして美の吉食堂に抜ける町道が非常に傷んでいる。利用者も多く、住民からの強い要望がある。改修工事について。

建設課長 現在「オーバレイ」という工法が補助事業の採択要件から外されてきて

いる。内部でしっかり協議をして、より有利な事業での取組みを検討したい。

質疑 災害対策費の防災無線電波伝搬調査委託とは。

総務課長 現在西之局田代・本村地域の防災無線の入りが悪く問合せがきている。いろいろ機器等の修繕をしたが改善されない。電波の流れが悪いのではないかとということで、今年度西之局の電波の流れの調査をするもの。

質疑 教育費のスクールバス購入について、現在のままでの運行委託形態に問題が生じたのか。また、バスを行政が購入して運行する利点は。

管理課長 南種子中学校のスクールバスについては、開校以来民間の貸切バスによる

運行委託をしてきた。委託経費は、平成26年度は2000万円弱であったが、平成29年度には3952万8000円に引き上がり、平成26年度の約2倍になっている。これは、平成24年に発生した高速バス事故等の発生などから、国土交通省が貸切バスの安全性向上を図る取組みの中、貸切バスの運賃制度を抜本的に見直し、大幅に積算単価を改めたことによる。運行業者からは、平成30年度以降800万円以上上乗せしないと契約は厳しいということ。運行委託料・燃料・車検等の経費を試算すると、バスを購入して運行委託した方が800万円〜900万円程度安くなくなり、財源的にはいいということになる。

また、現行のスクールバスには一般の方は乗車できないのが現実であり、今回購入するスクールバスは、文部科学大臣に届出をして許可を得れば一般住民を乗せる混乗運行や昼間の空いた時間を活用する間合い運行についても可能と

なり、一般住民利用者の利便性向上が図られる。

質疑 購入するバスは、間合い運行で、老人会・婦人会・民生委員等の研修視察にも使えるのか。

町長 運送業法との関係もあるが、それぞれの団体が社会教育的な観点や教育委員会との連携がとれていれば、対象になると思う。

質疑 6台購入し、5路線に分けて運行することだが、住民の足として活用するということか。

管理課長 従来の4路線を5路線にすることで、長時間乗る子どもたちの利便性を図ることと、許可手続きを行うことで一般の住民も利用できる。

質疑 不法投棄の未然防止について、町としての対策は。

発議

保健福祉課長 集落館長を環境Gメンとして委嘱して監視をお願いしている。不法投棄している場所への禁止看板の設置や不法投棄者が判明した場合は、訪問して指導している。

質疑 ゴミの不法投棄や道路沿いへの空き缶・ペットボトルの散乱が見られる。ロケッツト発射場もあり、見学者も増える傾向にある。町の環境美化をしっかりと推進していかなければならないと思うが、どのような呼びかけをしているか。

保健福祉課長 ここ数年集落毎の説明会を実施している。今年1月ごみの有料化とあわせて45箇所説明会を実施し、啓発を行った。また、種子島一市二町で空き缶等散乱防止協議会を組織しており、年次的にゴミの持ち帰り・ポイ捨て防止等の看板設置を種子島全体で取組むことを確認している。

教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元、複式学級解消を図るための2018年度政府予算に係る意見書

趣旨については、委員長報告に詳しく記載しておりますので省略しますが、要望は次の3項目であります。

①子どもたちの教育環境改善。教職員の長時間労働改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。

②教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合は2分の1に還元すること。

③離島、山間部の多い鹿児島県において、教育の機会均等を保障するため、国の学級編成基準を改めて、学校統廃

合によらない、複式学級の解消に向けて適切な措置を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出するものであります。

【送付先】

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣



お詫びと訂正

前回の議会だよりに誤りがありましたので訂正し、お詫びいたします。

立石議員の一般質問の中で公立種子島病院の平成27年度・28年度の赤字見込み額
誤 1億4千万円
正 7千万円

南種子町のホームページについて



議会を傍聴してみませんか



団体募集

議員との意見交換会

南種子町議会では、政策提案機能の強化及び拡大を図るため、意見交換会を開催いたします。

次のとおり希望する団体を募集いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○対象
各種団体等

○意見交換の内容

あらかじめ提出していただいたテーマに基づき実施。

なお、時間は1時間から1時間30分程度。

○開催時間・場所

できるだけ各団体の要望する時間・場所で実施できるよう調整いたします。

○参加する議員

意見交換する内容等に応じ検討いたします。

○その他

具体的な実施方法等については希望団体と協議し決定いたします。

○問い合わせ及び申込み先

南種子町議会事務局
電話 ②6 1111 (内線280)

編集後記

平成29年第2回定例会が6月13日から21日までの会期で開かれ、行政報告や一般質問、一般会計補正予算などの22件の議案が上程され審議されました。

主な内容は、ふるさと納税の平成28年実績は、2億166万円で、返礼品や経費は1億2751万円で、出産祝い金や恵美之江展望公園の整備に充てました。

平成29年度補正予算の主な歳出は通学バス購入費の件が議論となりましたが、経費削減の観点から、原案通り可決しました。

議会では議員一人ひとりが町民の立場になり、町民の声を耳をかたむけ南種子町津々浦々を駆け巡り町民の幸せと南種子町発展のために尽くすことを目指していきたいと願って邁進してまいります。町民お一人お一人が御多忙の中、熱中症など起こさないよう健康に十分に気をつけてお過ごし下さい。時間がとれましたら、ご遠慮なく議会傍聴に足をお運び下さい。

議会広報編集委員会
(文責)大崎 照男